

大会宣言

茨城県内における昨年の労働災害は、死亡者数が 30 人と一昨年に比べ9人増加した。また、休業4日以上之死傷者数は、新型コロナウイルス感染症によるものを除くと 3,035 人となり、一昨年と比較して 65 人減少している。

一方、水戸労働基準監督署管内における昨年の労働災害は、休業4日以上之死傷者数が 667 人となり、一昨年と比較して 35 人減少しているが、9人もの尊い人命が失われる極めて憂慮すべき事態となり、死亡災害の撲滅が何より求められている。

労働災害を防止するためには、経営トップが強いリーダーシップを発揮し、労使一体でリスクアセスメント、危険予知活動及び指差呼称などの様々な安全衛生活動を継続的、かつ、計画的に取り組む必要がある。また、雇入れ時教育、職長教育などの安全衛生教育を効果的に実施することは極めて重要である。

本大会を契機に、すべての関係者が一丸となり、だれもが健康に働き、労働災害のない安全な職場づくりを推進するため、全力で取り組むことをここに宣言する。

令和5年9月6日

水戸地区産業安全衛生大会

令和5年度 全国安全週間スローガン

『 高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場 』

令和5年度 全国労働衛生週間スローガン

『 目指そうよ二刀流 心とからだの健康職場 』